

研究課題名: 近世の旅と疫病伝播に関する歴史地理学的研究: 安政5年のコレラ流行を対象として

研究種目: 研究活動スタート支援

研究代表者: 谷崎 友紀 京都文教大学 総合社会学部 講師

概要

本研究の目的は、旅が大衆化していた近世後期において、疫病の流行により旅人の行動と、旅の目的地に生じた影響を解明することである。具体的には、安政5(1858)年のコレラ流行下における旅の状況を、(1) 旅人の出発地（旅の記録が多く残っている東国）、(2) 街道沿いの地域におけるコレラとその情報の伝播過程、(3) 伊勢や京都などの旅の目的地、といった3地点に着目して明らかにしていく。このように、非常時における旅の状況を考察することで、近世の旅の様相に加え、当時の人々が持っていた旅と疫病への認識を問うものである。

※令和3研究計画調書より抜粋